

新春所感

展

2024年

磐田商工会議所新開館
今春完成磐田商工会議所会頭
鈴木裕司氏

討論会「起業家が語る新事業創成とその支援策」には、登壇者の米国からのオンライン参加もあり、充実したものとなりました。また、「いわた夏祭inジュービロード」、「みんなで軽トラ市いわた☆駅前楽市」は

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、磐田商工会議所に対しましてご支援、ご協力を賜りました事、心より御礼申し上げます。

現在、我が国経済は、コロナ禍からの回復基調にあり、活動が徐々に活発になってきています。しかし、円安や混沌とする世界情勢などを要因とする燃料をはじめ、多くの物価が高騰し、先行き不透明な状況です。

磐田商工会議所では、昨年13回目となる「産業振興フェアinいわた」を「次世代技術で産業構造」をテーマとして開催しました。過去最高の186社の出展、来場者8300人へのぼり、多数の出会いの中から問い合わせや提案をもらった等の声を聞いています。出展企業及びご来場された方々に御礼申し上げます。

通常どおり開催され、多くの来場者を迎え、大きな盛り上げをみせました。これまでコロナ禍で中止や規模縮小を余儀なくされていた部会活動も、コロナ禍以前と同程度に視察やセミナー等を行う事ができました。

現在、建て替えを進めている磐田商工会議所会館は、資材高騰等による建設コストが大幅に増える中、会員皆様のご理解と多大なご協力の下、建設工事が進められ令和6年3月には建物が完成します。53年ぶりの建て替えであり、新会館の使用を開始する本年は本商工会議所にとりまして大きな節目の年となります。「会員にとどまらず、市民、団体が気軽に訪れ、地域の交流が深まるよう、誰にでも開かれた商工会議所づくり」に挑戦していきます。火曜日と木曜日に限りますが、営業時間を2時間延長します。少し

でも利用しやすい商工会議所を目指していきます。完成した際には、是非とも足をお運びください。笑顔と元気なあいさつでお迎えます。

また、新会館建設にあわせて、商工会議所としての役割を最大限に発揮できるよう、磐田商工会議所設立100周年となる2049年（令和31年）に向けた長期ビジョンを策定しています。設立50周年の1999年（平成11年）に策定した「いわた未来誌I W A T A C C I ネクスト50」を、部会から選出された委員で構成される委員会において振り返り、検証の上、将来のまちの姿、産業構造や商工会議所に求められる役割等を検討しています。

また、ジュービロ磐田は1年でJ1に復帰することができました。最終戦にまでもつれ込んだJ1昇格争いは多くのサポーター、市民を熱くしてくれました。ジュービロ磐田とともに、ラグビーリーグワンの静岡ブルーレヴズ、なでしこリーグ1部の静岡SSUボニータは、スポーツのまち磐田の「宝」です。できる限りの支援をしてまいります。

地域唯一の経済団体として更には地域中小企業の応援団として、その使命と役割を自覚した上で、会員の皆様、地域住民の皆様及び行政機関、支援機関、大学等ともより一層の連携を図り、磐田の発展のために引き続き努力してまいりますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。